

20170416 「復活の知らせ」

目標：聖書が証言する復活の内容を知り、それが今の自分に取らうという意味があるのかを考える。

聖書箇所：マルコ 16：1-8 時間：10分

暗誦聖句：「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのであろうが、イエスはよみがえって、ここにはおられない」（マルコによる福音書 16：6）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：復活の信仰は、救の条件ではなく救われた者に与えられる賜物である。故に本時は、聖書の復活の証言を示す事を中心に据え、子どもたちが復活信仰を持つか否かは問わない。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>イエス様が十字架に架けられたのが先週金曜日でした。イエス様を愛していた人たちは、いったいどのような思いで土曜日を過ごしたのでしょうか。ユダヤでは土曜日を安息日として、必ず休んでいました。外出も礼拝くらいしかなかったのです。それで、マグダラのマリヤ、ヤコブとヨハネの母マリヤ、サロメたちは、次の日曜日早朝に、イエス様の納めてあるお墓に行きました。</p>		<p>土曜日は何も出来なかった日と認識されれば良い。</p> <p>16日の日の出は5時8分（東京渋谷区）らしい。婦人たちが5時前には到着したとすれば想像し易いだろう。香料、埋葬法などは、適宜説明を加えれば良い。</p> <p>人の背丈ほどもある丸い石で、女性には動かせないほどだった事、彼女らは、番のローマ兵に動かしてもらったことなどを補足して述べる。</p>
課題探究	6分	<p>到着してみると、墓石が横に転がしてありました。（v4）</p> <p>中に入ってみると、右手側に真っ白な長い衣を着た若者が座っていたのです。（v5）</p> <p>若者は、イエスはもうここ（墓）にはおられない事と、ガリラヤで再会できることをマリヤたちに伝えました。（v6-7）</p> <p>彼女たちはおののき恐れながらそこから逃げ去ったのでした。</p> <p>この若者は、いったい誰だったのでしょうか。</p> <p>イエス様の復活は、その瞬間を見た人はいません。空っぽの墓と、甦ったという証言があるだけです。ある宣教師が、日本のお寺に行って、あの塔はなんですかと聞きました。お坊さんは仏舎利塔（釈迦の骨を奉った塔）だったので、そう答えました。すると、その宣教師は、「ハレルヤ！主の墓は空っぽで、骨もない。主は甦られたからだ」と神を賛美したそうです。</p>	<p>・天使</p> <p>・イエス様</p> <p>・解らない</p>	<p>見たときの彼女らの驚きようを生き生きと伝えたい。</p> <p>ペテロが特に名前が挙げられていること（v7）については、時間の余裕があれば、主のご配慮として触れる。</p> <p>聖書記載の復活の顛末を伝える。故に誰なのか聖書が沈黙しているので、答えは示さない。とにかく教師が聖書をそのまま伝えていると受け取られれば十分である。復活を信じることの大切さを強調したい。但し、復活を信じるか否かについては、本人の決断なので触れない。</p> <p>直接証拠がない事は、子どもたちにとり不安要素になり得る。この項で、直接証拠がない事の素晴らしさを提示し、復活を信じる素晴らしさを強調したい。</p>
まとめ	2分	<p>もし復活が事実なら、私たちの生活にはどういふ変化が起きるのでしょうか。</p> <p>最近イースターという言葉が教会外の人にも言うようになりました。でも彼らは意味を知らずに卵遊びをしているのです。そういう人たちにイースターの本当の意味、希望のない所に希望を持ってきた事を伝えられたら、素晴らしい事だと思います。</p> <p>暗誦聖句</p>	<p>・解らない</p>	<p>神学者の渡辺善太が、復活は句点を読点に変えて、しかし…と分が続くようになった出来事と言っている。「キリストは死んだ、しかし…」から始めて「学校でテストが悪かった、しかし…」など、いろいろ挙げさせ、復活の自分に対する意味を考えさせたい。</p> <p>189号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。</p>